

# 令和4(2022)年度事業報告書

## 全般

国内の新型コロナウイルス感染者数は拡大減少を繰り返して年度末には下げ止まり、その感染対策は、基本的対策を維持しつつもマスクの着用は個人の判断によることとされ、新たな段階へ移行した。

この情勢の中、国の補助も活用して新型コロナウイルス感染症対策を維持しつつ観覧を継続、主催行事については一部内容を見直したものとの計画通り開催した。

総観覧者数は回復傾向にあるものの団体での来艦者数の回復が鈍く、163,999名(前年度比163%)、観覧料は76,566千円とコロナ禍前の7割弱となった。

売店売上額は、40,782千円(前年度比156.3%)であり観覧者数と同様の傾向となった。

## 1 新型コロナ感染症拡大防止対策

職員、観覧者に対する感染予防を啓発しつつ開艦を継続した。

### (1) 艦内体制

ア 新型コロナ感染症予防の啓発パンフレットを掲示した。

イ 手指接触場所の清掃、サーモカメラによる検温、消毒用アルコールの設置、大型扇風機による強制換気等の対策を実施した。

ウ 通路、手摺等の清掃、抗菌対策(2回)、講堂椅子の清掃、抗菌対策(1回)を実施した。(業者委託)

エ ガイドツアーは、上甲板で1グループ20名以下を基準として実施した。

### (2) 職員の勤務態勢

平日は業務に支障のない範囲で職員を休業とした。

### (3) 助成金等

以下の助成金等の手続きを行った。

名 称	実施主体	金額(万円)
雇用調整助成金	厚生労働省	580.0
文化芸術振興費補助金	文化庁	78.8
	合 計	658.8

## 2 艦の修理整備

### (1) 官(海上自衛隊)による修理工事

#### ア 電気の部

- ・ 高圧受電設備定期点検
- ・ 漏電対策工事
- ・ ブレーカー、消火器、自動火災報知機の老朽更新
- ・ 艦内蛍光灯のLED化
- ・ 監視カメラ補修(補償工事)

イ 船体の部

- ・ 木甲板新替(艦首部)
- ・ デリッククレーン・ワイヤー新替
- ・ 中央展示室エアコン補修
- ・ 前部マスト・デリックブーム塗装
- ・ エアコン換装(長官公室、長官室)
- ・ 前部の右舷張り出し部甲板及び右舷スタンション等の新替

ウ 船体の長期保存に関する調査等

- ・ 海上自衛隊横須賀地方総監による現状視察

(2) 保存会による整備

- ・ 木甲板等の補修(前整備係長に委託)
- ・ 売店ドア補修
- ・ 舷門横の掲示板の補修
- ・ 艦内通路等(2回)、講堂椅子(1回)の抗菌対策(業者委託)

(3) 海上自衛隊員等による奉仕整備等

- ・ 海上自衛隊第2術科学校学生による除草、塗装等の奉仕作業、(16回、延べ339名)
- ・ 横監施設課による給水管の漏水調査と防火貯水槽止水弁(フロートバルブ)交換及び公園との境界柱の補修工事
- ・ 海上自衛隊横須賀地方総監部の隊員による左外舷及び上部構造物塗装整備
- ・ 護衛艦乗員による整備(2回)
- ・ 米海軍横須賀基地隊軍人による除草及び研修(2回)

### 3 展観態勢

(1) 資料の整備等

なし

(2) 収蔵資料の現況(令和5.3.31現在)

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	4年度 受入 (所蔵品)	合計
勲 章	52	0	12	0	64
武 器	64	0	3	0	67
絵 画	82	5	8	0	95
印 刷	160	11	2	0	173
書	189	52	40	0	281
被 服	86	0	9	0	95
写 真	308	195	9	0	512
証 紙	112	0	5	0	117
旗 布	15	0	3	0	18
工 作	126	21	12	0	159

陶 器	19	0	4	0	23
彫 刻	23	0	1	0	24
模 型	24	9	37	0	70
計 器	19	0	3	0	22
録 音	28	0	0	0	28
図 書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
合 計	1386	301	150	0	1837

(3) 資料の貸出

令和4年3月より令和5年3月まで坂の上の雲ミュージアム(企画展「坂の上の雲」にみる日本海海戦)に以下の8点を貸し出した。

①戦艦三笠の速力通信器表示盤②海図室名板③明り取りガラス④ロシア軍艦の時鐘⑤速力通信盤⑥ネボガトフ少将の肩章⑦剣緒⑧下瀬火薬の略歴

(4) 「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」

日露戦争時の艦船模型(購入予定数:84隻)のうち、3隻(三等巡洋艦 秋津洲、通報艦 八重山、二等戦艦 扶桑)(累計:31隻)を購入した。

(5) その他

ライトアップ用照明交換(2台)

艦内説明7号機アクリル天板換装

銃砲刀剣類の一斉検査を横須賀警察署にて受検

#### 4 主催行事

感染状況に応じ実施内容を見直しつつ実施した。

(1) 日本海海戦117周年記念行事

5.27(金)満艦飾とし、13時30分から三笠講堂において、上地横須賀市長、乾横須賀地方総監、ラティ在日米海軍司令官はじめ内外多数のご来賓及び三笠会員の出席をいただき、3年ぶりに「記念式典」のみ開催した。

コロナ禍でもあり密防止のため参加人数を最大200名を目途とし、招待者数を制限するとともに会員はハガキによる事前申込とし、約150名が参加した。

(2) 夏休み特別企画「三笠」子供ミュージアム

7.16(土)から8.28(日)の間、次の企画を実施した。

- ・「書き込んで完成!三笠こどもノート」の配布(毎日)
- ・三笠こどもスタンプラリー(中学生以下)(毎日)
- ・三笠工作ルームの開設(毎日)
- ・戦艦三笠就役120周年記念品(三笠サウンド模型(1/500))の抽選(毎日)
- ・三笠ガイドによる案内(土日祝等)
- ・7.31(日)海上自衛隊横須賀音楽隊デキシーバンド(6名)による演奏会(約130名参加)
- ・掲揚軍艦旗等の抽選によるプレゼント申し込み(毎日)

### (3) 船の模型コンクール

9.8(木)から9.25(日)まで横須賀市内の小学校29校から517点の出品を得て同作品展を下甲板において開催した。9.7(水)に横須賀市教育委員会指導主事による審査が行われ、金賞から努力賞まで63名の作品を選考、9.17(土)午前 講堂にて表彰式を実施した。

なお、各学年の金賞作品6点は一年間、中甲板右舷通路に展示している。

### (4) 子供たちプラモデル教室

10.2(日)プロモデラー長谷川伸二氏を講師に迎え、株式会社ハセガワによりプラモデルの提供を受け、後部甲板において開催した。3年ぶりの開催となったが小学生21名と保護者15名が参加した。

### (5) お正月イベント

正月三が日は、「新年のパワー充填で良い年にしましょう！」をキャッチコピーとして以下の企画を実施した。

- ・パワースポット(三笠神社、三笠最上艦橋)巡り
- ・スタンプラリー完走者による景品抽選会
- ・甘酒サービス
- ・掲揚軍艦旗等プレゼント申込み

三が日で2,551名(昨年比130%)の来艦者があった。

### (6) 第30回書初め大会

1.4(水)下甲板において横須賀市内の小学生32名の参加を得て開催した。

同日、横須賀市教育委員会指導主事による審査が行われ、金賞から努力賞まで作品を選考、賞状と副賞を授与した。作品は1.6(金)から1.15(日)の間、艦内に展示した。

### (7) 新春たこあげ教室

1.8(日)三笠公園を管理する よこすかseasideパートナーズとの共催で、「日本凧の会」の会員の協力を得て開催した。

子どもたち15名と保護者29名が参加し、三笠下甲板で和凧作りを行い三笠公園内で「凧あげ」を満喫した。

### (8) 子供ラジオ教室

3.21(火)三笠下甲板において、(株)横須賀テレコムリサーチパーク、YRP研究開発推進協会との共催で、4年ぶりに小中学生等25名の参加を得て開催した。講師は三笠保存会評議員太田氏が、またYRP進出企業からの補助者約20名が支援にあたり、参加者は熱心にゲルマニュウムラジオの製作に取り組んだ。

## 5 協賛行事

### (1) 朗読劇、古典落語

4.2(土)地元演劇集団等により講堂で開催した。(参加者80名)

### (2) よこすかカレーフェスティバル2022

5.21(土)、22(日)3年ぶりに開催された同イベントに協賛し観覧料を大人一般及びシニアを300円とし、子供対象のスタンプラリーも実施した。

密防止のため事前申込制となり、二日間の来場者数は 26,000 人(2019 年比 40%)で三笠の来艦者数は 3,719 人(同比 54.4%)であった。また、スタンプラリーの参加者は 801 人(同比 81.8%)であった。

- (3) 横須賀市と松山市の「観光交流都市協定」更新(3 年毎)のお披露目会  
5.24(火) 記念艦三笠と交流のある坂の上の雲ミュージアムで行われ、横須賀市の依頼に協賛し三笠関連グッズを提供した。
- (4) 環境月間(環境省)協賛ライトアップ  
環境の日(6 月 5 日)に合わせて全国で行われる「緑のライトアップ」に協賛し 6 月 2 日から 5 日の間、緑のライトアップとした。
- (5) 記念艦三笠でモールス体験～無線通信の歴史と今・未来を体験する～  
6.4(土)から 6.11(土)の間、総務省の 2022 年情報通信月間参加行事として(一社)電波教育協会主催の同イベントに協賛し 7 番砲室・通路で展示会を 6.4(土)、6.5(日)にモールス体験を開催した。
- (6) 企画展「幻のロケット戦闘機「秋水と横須賀」」パネル展とスペシャルライブ  
6.18(土)から 6.26(日)の間、秋水史料研主催の同イベントに協賛し、7 番、9 番砲室でのパネル展及び最終日には講堂にて同代表佐久間則夫氏による講演と地元演奏家によるスペシャルライブを開催し約 130 名の方が参加した。
- (7) 企画展「鉛筆艦船画展 大日本帝国海軍創設 150 年記念 大観艦式二六八二」  
7.1(金)から 9.11(日)の間 7 番、9 番砲室において鉛筆画家 菅野泰紀氏の艦船画展を開催した。画家が在艦する日にはギャラリートークや製作実演も行われた。
- (8) 流灯会  
7.16(土)横須賀流灯会が主催する行事で、今年もコロナ禍の為に灯篭流しは中止となり、お供物の受取所の設置(コンテナ設置)に協力した。
- (9) 令和 4 年度横須賀夏季防衛講座  
8.20(土)横須賀防衛協会等が主催する講演会(講師: 河野 克俊 前統合幕僚長)を講堂で開催した。(参加者約 180 名)
- (10) JAF 夏休み特集  
7.16(土)から 9.30(金)の間、JAF が企画する夏休み特集に協賛し、JAF アプリケーション提示の方に特別優待((本人含め 5 名まで)一般、シニア 観覧料 300 円)を行い 463 名が利用された。
- (11) 企画展「日本のユーフォニアムとその歴史展」  
9.17(土)から 9.25(日)の間、7 番、9 番砲室においてプロジェクト・ユーフォニアムが主催する同企画展を開催した。28 点のユーフォニアムの展示の他、次のとおり演奏会等が行われた。  
9.17(土)甲飛喇叭隊: 「幕末から終戦までの金管製造の歴史」「ラッパで辿る軍隊生活の 1 日」「軍艦旗掲揚再現」(各回約 60 名)  
9.23(金)警察・消防音楽隊 OB: アンサンブル演奏(約 100 名)
- (12) よこすか開国花火大会 2022  
10.16(日) 3 年ぶりに開催された同大会に協賛し、夕刻上甲板を開放した。主催者招待者(267 名)及び三笠保存会招待者(305 名)合わせて 572 名が乗艦され花火を

鑑賞した。

(13) 横須賀地元の元気応援券(プレミアム付商品券)

10.16(日)から2023.1.31(火)の間、横須賀市の企画に協賛し、応援券利用可能店となり、集客のため大人一般観覧券600円を応援券1枚500円で購入できるようにし、98名が利用された。

(14) サイクルスタンプラリー「ひつじのショーン」第3弾

10.16(日)から12.15(木)の間、横須賀市等が主催するサイクルスタンプラリー「ひつじのショーン」に協賛し、参加賞として無料観覧券を60枚提供した。

(15) よこすか海洋シンポジウム2022

10.23(日)横須賀市民会議が主催するテーマ「5年後、10年後はどうなる？横須賀の自然」のシンポジウムを講堂で開催した。(参加者120名)

(16) 空技廠と台湾少年工

10.29(土)日台高座友の会が主催する講演会「空技廠と台湾少年工」(台湾在住の東俊賢(とう・しゅんけん 92歳))を講堂で開催した。(参加者約150名)

(17) マリノス応援トリコロールカラーライトアップ

10.27(木)から11.13(日)の間、横須賀市をホームタウンとするプロサッカークラブ横浜F・マリノスの優勝を応援する横須賀市に協賛し、F・マリノスのイメージカラーである「トリコロールカラー」(赤・白・青)のライトアップとした。

(18) フリートウィーク(海上自衛隊国際観艦式2022)

10.29(土)から11.13(日)の間、同行事に協賛し外国海軍軍人の観覧料を一人200円に割引を行い約90名が来艦した。

(19) ねんりんピック(全国健康福祉祭)

11.12(土)から11.16(水)の間、神奈川県下で開催され、横須賀市では卓球が行われることから同行事に協賛し競技参加者の観覧料を一人300円に割引を行い約40名が来艦した。

(20) 日米同盟祝賀会

11.19(土)横須賀 アジア・太平洋問題研究会(YOKOSUKA COUNCIL ON ASIA-PACIFIC STUDIES(YCAPS))が主催し、関係者の絆を深めるための同行事に協賛し、講堂においてセレモニーを、下甲板において懇親会を開催した。ジョン・ブラッドフォード氏(シンガポール南洋理工大学教授(元米海軍))や武居 元海上幕僚長、香田 元自衛艦隊司令官、梅本氏(元外務省北米局長、イタリア大使)等約60名が参加した。

(21) 三笠艦記念第14回スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会

11.20(日)神奈川県柔道連盟等が主催し、関東を中心に1都1府17県から約650名の豆柔道家が集まり、横須賀市総合体育館で開催された同大会に協賛し、参加賞等を提供した。

試合の合間にはオリンピック柔道史上初の3連覇を果たした野村忠宏氏など豪華選手を講師とした各種イベントも行われた。

(22) 乗り物フェスタ

12.3(土)、4(日)一般社団法人横須賀市観光協会が主催する同イベントに協賛し、同イベントのチラシ持参で大人一般料金100円引きとした。

(23) 第 82 回海洋教育フォーラム

12.17(土)公益社団法人日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会が主催する同イベントに協賛し、テーマ「海洋の環境と生物ー最新研究と Z 世代が見る海ー」のフォーラムを講堂で開催した。(参加者約 80 名)

第 1 部では研究者による海洋浮遊ゴミの回収や深海生菌類について発表があり、第 2 部では神奈川県立海洋科学高校、同横須賀高校、横須賀学院高校の学生による研究発表が行われた。

(24) 「横須賀新しい風景」切り絵展等

2.18(土)から 2.26(日)の間、7 番砲室でヨコスカ愛してるかい? 事務局、湘南海援隊が主催する切り絵展等を開催した。

2.26(日)には日本海軍検定(士官居住区)(受検者 20 名)及び講演会「陸軍大将・柴五郎と日英同盟」、ヨコスカ愛してるかい? スペシャルライブ(講堂)(約 140 名参加)が行われた。

(25) スプリングフェスタ

3.25(土)4 年ぶりに開催された同フェスタに協賛し、観覧料金(一般)を 100 円引きとした。密防止のため事前申込制となり約 28,000 名の応募があったが、終日降雨が続き米軍基地入場者は 21,000 名(2019 年比 55%)で三笠の来艦者数は 860 名(同比 42%)であった。

## 6 広 報

(1) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアーチ

土日及び祝日に延べ 774 回 16,104 名に実施した。

(2) SNS 広報

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、トリップアドバイザーなどでの情報発信に努めており、各サイトでのフォロワー数も着実に増加している。

(3) メールマガジン

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者(約 350 名)に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを四半期毎計 4 回(37-40 号)配信した。

(4) 会報「みかさ」

「みかさ」35 号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(5) 看板等の設置

ア 三笠ビル商店街歴史ギャラリーに「戦艦三笠就役 120 年」パネルの展示

イ ポートマーケット(10.28(金)リニューアルオープン)内に設置された大型スクリーンへの三笠紹介動画の上映

ウ 三笠循環バス広告の掲載

エ ポスター類の掲示

三笠こどもミュージアム及びお正月イベントのポスターを市内の京急・JR 各駅に、チラシを三浦半島内のマクドナルドスタンドに配架した。

オ 観光案内所等に三笠パンフレットを配布

(6) 新聞、広報誌等への広告

朝雲新聞、水交、東郷、神奈川新聞、タウンニュース(ローカル情報紙)、防衛協会会報(各2回)、産経新聞、神奈川自衛隊音楽まつりパンフレット、「東郷平八郎記念日」リーフレット(鹿児島水交会)(各1回)に掲載した。(計15回/有料11回、無料4回)

(7) 行事等の新聞等への掲載

読売新聞、神奈川新聞、産経新聞、タウンニュース、はまかぜ、ヨコスカ新聞、朝日新聞、などに企画展や「15万人来艦者」の関連記事が掲載された。(約20件)

(8) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への撮影協力

- Youtube アディーレ法律事務所横須賀支店広告
- フジテレビ「世界の何だこれ！？ミステリー」
- 世界の艦船6月号「戦艦「三笠」と日本海海戦」増刊号
- 関西テレビ「所JAPAN」
- NHK「新街道をゆく 三浦半島記」
- テレビ朝日「ホリケンのみんなともだち」
- 「高嶋ひでたけのイキナリ！ひでチャンネル-YouTube」
- Liveニュース横須賀・逗子・葉山・三浦 J.com 三笠の工事について
- parabi「今田と車とメシ」
- 田戸小学校5年生20名 壁新聞関連Youtube
- テレビ朝日「朝だ！生です旅サラダ」

イ 雑誌等

- 東京書籍「目で見る歴史～あの人見た風景～」
- ぐるなび外国人向け紹介記事
- 廣済堂出版「作画のための海軍軍服ポーズ集(仮称)」
- TOKYOスタジオ合同会社雑誌記事
- 海っ子 海洋少年団通信 第647号 記念艦「三笠」での横須賀団日本連盟表彰式の模様
- 県観光課「神奈川県全域PR企画」
- 読売新聞「大正期の軍縮関連」
- 読売新聞(夕刊)日本史アップデート(軍縮期の軍人)三笠保存会職員コメント掲載

(9) 横須賀海洋少年団の活動(陸上訓練等)に協力(6回)

(10) 横須賀市から行政視察等の要請をうけ案内等を実施(9回 65名)

(11) 三笠ガイド協会2回、バス会社のガイド1回の研修に協力

(12) その他

ア 三笠保存会会員を対象に、戦艦「三笠」就役120周年を記念した模型プレゼントの募集を行い、当選した20名に模型を発送した。

イ 横須賀市観光商談会(総務部長、広報課長)に参加した。

- ウ 田戸小学校5年生の壁新聞(三笠保存会紹介)がノジマモール横須賀店展示室に掲示された。
- エ 横須賀市観光課によるドローン撮影に協力した。
- オ みかさHP上にeチケットが購入できるアイコンを設置した。

## 7 観覧者数等

- (1) 観覧者数(無料観覧者を含む)は163,939人(前年度比163.4%)であった。
- (2) 団体観覧者数は13,338名(前年度比249.1%)であった。

順位	都府県	延人員(前年度比)	順位	都府県	延人員(前年度比)
1	東京②	6,376(201%)	6	茨城-	349
2	神奈川①	4,784(127%)	7	長野-	221
3	埼玉④	739(195%)	8	栃木-	192
4	静岡⑧	666(2,081%)	9	愛知⑨	184(1670%)
5	千葉③	569(105%)	10	山梨-	166

※ ○内数字は昨年度の順位、-は昨年実績なし。

- (3) 観覧収入は76,566,200円(前年度比170.6%)となった。
- (4) 団体で来艦した学校数等(コロナ禍前は約55校、約3000名)

	小学校	中学校	高校	大学等	特殊学校	米軍	学校計	人数
4年度	22	7	11	8	2	3	53	3,270
3年度	17	13	6	3	8	0	47	3,432

- (5) 外国人の来艦者数は2,896名(前年度比216.9%)となった。(コロナ禍前は約5500名)

## (6) 主要来艦者

4月	(研修)海上自衛隊幹部学校長 海将 真殿 知彦 (着任挨拶)横須賀地方総監 海将 乾 悅久
6月	(研修)NATO軍事委員長 オランダ海軍大将 ロバート・バウアー、自衛隊統合幕僚長 陸将 山崎 幸二 (研修)ニュージーランド統合軍指揮官 海軍少将 ジェイムズ・ギルモア
7月	(駐日英国防武官送別昼食会)海上自衛隊幹部学校長 海将 真殿 知彦、 駐日英國国防武官 海軍大佐 サイモン・ステイリー
8月	(着任挨拶)横須賀総監部幕僚長 海将補 小峰 雅登
9月	(研修)駐日カナダ国防武官 海軍大佐 ロバート・ワット
11月	(研修)ニュージーランド海軍司令官 海軍中将 デイビッド・プロクター、 駐日国防武官 陸軍大佐 ポール・ドラギスヴィチ (研修)駐日米国国防武官 海軍大佐 フレッド・スミス (研修)駐日マレーシア国防武官 海軍大佐 ワン・ブデルヒサワン・ムダ
1月	(研修)バーレーン政府関係者、外務省総合外交政策局参事官
2月	(研修)オーストラリア統合作戦副司令官 キッチャー空軍少将、海軍運用部長 ハリス海軍准将、駐日国防武官 ハロラン空軍大佐

	(横須賀地区自衛隊新入隊員激励会) 衆議院議員 小泉 進次郎、横須賀市副市長 田中 茂、横須賀防衛協会会長 平松 廣司、隊友会横須賀支部長 濱田 暢紀、隊友会武山三浦支部長 坂巻 武
3月	(研修)フランス国際関係戦略研究所(IRIS)研究員・インド太平洋研究部長 マリアンヌペロン・ドワーズ氏 (研修)オランダ王国国防省 国際軍事協力部部長 ブラクイエー陸軍准将 (研修)ニュージーランド国防省国際関係局長 キャサリン・ピアース氏、駐日国防武官 ポール・ドラギスヴィチ陸軍大佐

(7) 防衛省職員の研修

自衛隊の7部隊等の隊員・職員(延べ約1,400名)が研修のため来艦した。

(8) 外国軍人等の研修

米海軍士官候補生(日米候補生交換行事参加者)10名

防衛大学校 外国人留学生18名 教官5名

## 8 会員

(1) 会員数

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		4年度	3年度	4年度	3年度
個人会員	通常会員	57	58	637	659
	終身会員	57	65	2,364	2,375
	維持会員	15	14	211	201
	小計	129	137	3,212	3,235
法人会員	通常会員	1	1	45	46
	終身会員	0	2	26	26
	維持会員	1	0	18	17
	小計	2	3	89	89
合計		131	140	3,301	3,324

(2) 月別会費収入

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	215	311	570	203	324	404	158	294	332	343	213	534	3,901
3年度	566	756	356	262	184	175	276	337	316	372	199	316	4,115

(3) 会員対策

- ア 海上自衛隊2術校において上級管理講習参加者に対し、三笠保存会の概要説明と入会勧誘を2回実施した。
- イ 海上自衛隊各総監部管理部長と基地業務隊司令に三笠保存会入会案内の書類を送付し退職隊員への入会勧誘を依頼した。
- ウ 会員優待券は、コロナ禍の影響で休艦があり利用が少なかったことから、有効

期間を更に1年間(令和5年3月末まで)延長した。

## 9 運営

### (1) 会議

5.31(火)第41回 運営委員会  
6.13(月)第22回 理事会  
6.28(火)第22回 評議員会  
同 臨時理事会  
9.15(木)第42回 運営委員会  
11.16(水)第43回 運営委員会  
1.19(木)第44回 運営委員会  
3.13(水)第23回 理事会  
3.28(火)第23回 評議員会

### (2) 理事等の交代

6.28(火)付で次の理事等が就(退)任した。

退任		新任	
荒川 勇一	三笠保存会理事長	上田 順子	元横須賀市副市長 (一財)小松診療所
石渡 隼	湘南信用金庫 前理事長	中本 剛央	横須賀青年会議所理事長
門井 秀孝	横須賀青年会議所前理事長	濱田 千入	元横須賀市こども育成部長 (福)春光学園 監事
前田 幾代	元横須賀就労援助センタ 一施設長	鷺尾 精一	湘南信用金庫 理事長

6.28(火)付で次の代表理事及び各役員が選任された。

下線は新任、太字は再任

番号	氏名	記事	番号	氏名	記事
1	秋本 丈仁		11	佃 和夫	<b>代表理事(会長)</b>
2	板倉 雅		12	道家 一成	<b>運営委員</b>
3	伊東 聰		13	中塚 久雄	<b>専務理事 運営委員</b>
4	井上 力	<u>理事長 運営委員</u>	14	中本 剛央	
5	上田 順子	<u>運営委員</u>	15	長谷 勇	<b>運営委員</b>
6	小沢 一彦	<u>副会長</u>	16	濱田 千入	
7	菊池 匠文		17	畠 年	<b>運営委員</b>
8	倉林 孝英		18	平松 廣司	<b>運営委員</b>
9	鈴木 隆裕	<u>運営委員</u>	19	福地 建夫	<b>副会長</b>
10	高橋 茂		20	鷺尾 精一	

### (3) 職員基本給表の改定

4.10.1 神奈川県最低賃金が1時間1,071円となったことにより、三笠保存会給与支給規則別表「基本給表」の最低等級最低号俸額(4等級1号俸:158,000円)が最低賃金を下回るため、これを是正し、改正最低賃金を上回る額162,000円(4,000円

増額)とした。これに倣って「基本給表」各等級各号俸額を 4,000 円増額し全部を改定した。

(4) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおり。

配 置	採 用(年月)	退 職(年月)
保安係	小泉 敏彦(4. 8)	尾山 幸雄(4. 9)
売店店員	郷原 健司(5. 3)	

イ 4 年度末における職員数は次のとおり。

正職員	再雇用職員	パート	計
5(1)	6	5(4)	16(5)

注: ( )は女子職員を示し、内数である。

(5) 関係官公庁、友好団体行事への参加

定例の会合に出席した他、以下の行事に参加した。

- ・ 海上自衛隊 70 周年記念式典に参加(理事長)
- ・ よこすかシティガイド協会 20 周年記念祝賀パーティー(事務局長、総務部長、広報課長)

(6) 職員の教育・研修

ア 職員研修会

12. 14(水)「三笠艦橋の図」の作成の経緯や謂われ等について勉強会を行った。

イ 自主防災訓練

12. 14(水)地震発生時及び火災発生時の初動対処、観覧者避難誘導方法及び非常用発電機の運用法について演練した。

ウ 神奈川県博物館協会防災訓練(遠隔情報伝達訓練)

10. 25(火)神奈川県西部で地震が発生したとの想定で、三笠で想定される被害を通知する通信訓練に参加した

## 10 売店部

(1) 営業収入

4 年度商品総売上高は 40,782 千円であり、前年度比 156.3% となった。

(2) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトでの販売実績は、取扱件数 181 件(前年度比 108.4%)、販売金額 747 千円(前年度比 102.9%、売上金額の 1.8%) であった。

(3) 新商品

- ・ ランチョンマット
- ・ 2023 カレンダー
- ・ 「軍艦マーチ」の誤解と真実(谷村政次郎著)
- ・ 「海軍」カレー物語(高森直史著)

(4) キャッシュレス実績

(令和 5. 3. 31 現在)

種 別	取扱件数(件)	販売金額(円)	対売上高	備 考
クレジットカード	1,849 (前年度比 161.8%)	5,155,406 (前年度比 164.7%)	12.6%	NICOS、JCB 等
交通系 IC カード	2,122 (前年度比 142.5%)	1,741,600 (前年度比 146.8%)	4.3%	スイカ、パスモ等
QR 決済	2,559 (前年度比 189.8%)	3,106,535 (前年度比 193.2%)	7.6%	ペイペイ
合 計	6,530 (前年度比 164.1%)	10,003,541 (前年度比 168.9%)	24.5%	

(5) 棚 卸

4 半期毎に棚卸しを実施し、適切に処理されていることを確認した。

(6) よこすか応援ふるさと納税返礼品の登録

次の 6 種類の商品セットについて登録手続きを行い、23 件の販売実績があった。

- ・ カレー皿セット 3 種類
- ・ 三笠帽子セット 3 種類

(7) その他

ア 券売機を新 500 円硬貨に対応するよう改修した。

イ 記念メダル販売機を更新した。